

沖縄の

子どもたちのいのちを守れ！ 学校上空の米軍機飛行禁止を！

■普天間基地



写真は17人もの人命を奪った1959年の石川市（現うるま市）宮森小学校のジェット機墜落事故。

昨年12月の宜野湾市の緑ヶ丘保育園へのCH53ヘリ部品落下事故、その後の普天間第二小学校運動場への窓落下事故、年明け以降も連続する普天間基地所属機の部品落下・不時着事故等。再三にわたる県・住民等の安全対策や飛行停止要請に対しても、米軍は県民の納得する対策も行うことなく学校の上空の飛行等を繰り返している。米軍機訓練は既に全県に拡大されており、全県全域の子どもたちの命は危険にさらされている。宮森小墜落事故のような悲劇がいつ起こっても不思議ではない状況である。沖縄戦から73年、日本国憲法下に入って今年で46年目。生存権・教育権・学習権等、憲法が保障する人権が蹂躪され続けている沖縄。私たちはどう連帯し、たたかっていくのか。沖縄の教員とともに考えたい。



講師：山本隆司さん

プロフィール：三重県生まれ26歳で沖縄に移住。嘉手納町・沖縄市・北谷町・読谷村とカデナ空軍基地のフェンス隣の小学校で勤務。2007年から沖縄県教職員組合委員長を10年、現在「辺野古に新基地を造らせないオール沖縄会議」事務局長

沖縄と憲法を考える講演会

2018年

4 / 15 (日) 14時

場所：ウイングス京都 資料代500円

地下鉄烏丸御池駅5番出口または地下鉄四条駅・阪急烏丸駅20番出口下車徒歩約300m

主催／戦争をさせない京都1000人委員会

問合せ先 ☎075-415-1030

<https://www.facebook.com/antiwarcommitteeof1000inkyoto/>

